

山行報告 劔岳・立山

【山域】北アルプス北部

【日時】2016/8/24～2016/8/25 1泊2日

【参加者】川口(単独行)

【天候】晴れ

上高地から親不知の海岸に抜けた縦走を終えてから2日休んで、2016年8月24日～25日にかけて1泊2日で劔岳～立山に登ってきました。写真と共にまとめてみたいと思います。

8/24。立山駅前の駐車場で5時過ぎに起きて朝食を摂り、支度して駅へ。行列の中始発(正確には始発から10分後の臨時便)のチケットを購入し、ケーブルカーに乗り美女平へ行き、バスに乗り換え室堂へ。ケーブルカーとバスで一気に2,450mまで上がるというのはなんとも言えない気分でした。上高地みたいな雰囲気想像していましたが、上高地よりもさらに観光地な雰囲気で、どうも登山意欲が湧きにくい。火山ガスで非常に硫黄臭い中、歩みを進めると徐々に登山道らしくなってきたようやく登山意欲が湧きだす。



この日の目的地は劔沢キャンプ場でしたが、室堂から直で行くと早く着きすぎるので奥大日岳まで足を延ばすことに。が、せっかく足を延ばしたものの曇りで何も見えない！！8/23を一日天気待ちにあてましたが、この日も終日曇りで歩きやすいのは良いのですが展望は望めませんでした。歩いていると前回の縦走でも何度か見かけた雷鳥が。今回の個体はやたら目の上が赤くて綺麗な個体だったので、写真に収めました。



目の上が赤い雷鳥。調べたところ、これは雄で興奮しているサインなのだとか。そういえば近くにもう一羽いましたがあれは雌だったのだろうか…？景色もなく雨が降る前に早くテントで落ち着きたかったのが、早足で歩きコースタイムよりかなり早くキャンプ場に到着。受け付けをしていると、前回の縦走中に五竜山荘で停滞している時会ったパトロールのお兄さんとばったり！！「五竜山荘で会いましたよね…？」とお互い同時に気付く。なんでも、強制的に休みを取らせられ、せっかくの休みなので富山まで足を運んだとの事で、今回はプライベートで山に入っているそうです。不思議な縁があるものです。そんな彼は翌日劔岳に登り、北方稜線から下るとのことでした。ご無事に！

受け付けを済ませ、テントを張って中でリラックスしていたらパラパラと雨が。ギリギリで雨に降られる前にキャンプ場に到着したようです。その後も雨が降ったり止んだりを繰り返していましたが、一瞬だけ15:30くらいに劔岳の全貌が見えました。ギザギザでカッコ良い山塊です！トイレに行くため20時前に外に出た時点では星空。明日に希望を持ちながら、寝る準備に入りました。

8/25。3時台に起きたところ、月が見えており天候はどうやら晴れ。朝の数時間だけ晴れている、という事もよくあるので、チャンスを逃してはならないと4時に出発しました。早足で歩みを進めていったところ、前劔手前で夜明け。空は青く、劔岳の山塊で隠れていましたが前々週から前週にかけて歩いた稜線がくっきり見えていました。稜線が雲に覆われる前に山頂に着くぞ！ということで飛ばしたところ、劔沢キャンプ場から2時間ちょいで山頂に到達。前年読んだ「点の記」を頭の中で振り返りながらの登頂でした。左の写真は劔岳山頂から望む立山、右は同じく山頂にある祠です。



山頂はこれ以上望めないくらい快晴！360度最高の景色が広がっていました。前回の上高地～日本海の縦走路が槍ヶ岳から白馬岳にかけてバーン！と目の前に広がっており、ただただ目の前に広がる景色を眺めていました。



今までで一番長い、山頂に1時間の滞在。個人的にはこれで満足しきっていましたが、今回のメインは富山県の最高峰・立山に登ることなので、残りの行程のためテントをデポしたキャンプ場までリターン。キャンプ場に到着した時点で剣岳を見てみると、こんな状態に。



雲に覆われた山頂、早く登って正解でした。さて、キャンプ場には9時半前に着きましたが、休憩しているうちにキャンプ場上空にどんどん太陽が照ってきて、日差しが肌を刺すくらいに。前夜の雨で濡れたテントを乾かすチャンス！ということで、撤収する前にテントをひっくり返して乾かすことにしました。結局キャンプ場には10時過ぎまで滞在。

大汝山に登り、さらにその先には雄山がありますが、こんな山の上に立派な社務所等が建てられており心底驚きました。さらに驚いたのは、まあ自分の知識不足のせいでもあるのですが、神社がある場所が山頂ということ！こんなパターンは初でした。山頂では今後の登山安全の祈禱とお祓いをしてもらいました。



ここって 3,000m ですよ！？山の上にいるとは思えない。少ししたら下山。相変わらず観光地臭が強い室堂に辟易しつつ自分の車に戻り、この日は風呂に入っのんびりとしたあと次の山に移動しました。

北アルプス編・完